

令和6年度

家庭教育学級の手引き

(B)



伝わる子育て「イライラを解消しよう」(志津小学校)



デコレーションケーキ作り(印南小学校)



プレーパーク体験(上志津小学校)



給食試食会(佐倉東小学校)



おいしいコーヒーの淹れ方(間野台小学校)

佐倉市教育委員会

目 次

| | | | |
|---|----------------------|-------|---|
| 1 | 家庭教育学級の運営について | ----- | 1 |
| 2 | 講座の実施にあたって | ----- | 2 |
| 3 | 事業開始前の提出物について | ----- | 4 |
| 4 | 事業終了後の提出物について | ----- | 5 |
| 5 | 令和5年度家庭教育学級アンケート結果報告 | ----- | 6 |

1 家庭教育学級の運営について

(1) 家庭教育学級の目的

共働き世帯の増加による親子の時間の減少や SNS 等インターネットの普及により人間関係が希薄化している現代において、保護者同士がつながり、共に学ぶことで家庭の教育力の向上を図るとともに、学校への理解を深めることを目的とする。

(2) 開設・運営について

- 対 象 幼児、児童、生徒が在籍する幼稚園、小中学校の保護者。
- 組 織 学級生で構成される「運営委員会」によって運営する。
- 役 職
 - ・学級生から運営委員長を選出する。また、会計1名置く。他の役職については学級の実情に応じて決定する。
 - ・開設、運営に際し、助言等は学校及び社会教育課にて行う。
- 回 数 回数、時間の条件はありません。
- 期 間 **開始日から令和7年2月28日**とする。
- その他 新1年生以外の児童・生徒の保護者の参加も可とする。

(3) 費用について

- ・社会教育課で負担できる費用は、消耗品費・講師謝礼のみとする。
- ・費用例（過去データより）

【謝礼金】

ヨガ講師：5,000円

アート作品講師：5,000円

料理教室講師：10,000円

【消耗品】※1回につき

5,000円以内

※各校において講演会等の実施希望がありましたら、内容や予算等について、社会教育課までご相談ください。

2 講座の実施にあたって

(1) 学習内容について

過去の講座やチラシを参考にしながら、学習の企画運営をしてください。講座の企画・運営について、不明な点などありましたら、社会教育課までご相談ください。

| 過去講座事例（令和5年度） | |
|----------------------------------|----------------------|
| 講座内容 | 講師等 |
| オルゴナイト作成講座 | kuschel |
| 親子工作体験教室（ソルトアート） | アトリエ ティエラアスール |
| ダンス・ヨガ | ヨガ講師 |
| 給食試食会 | 学校栄養士 |
| デコレーションケーキ作り | 菓子工房 シェルシェ |
| 麦味噌づくり | 高田商店 |
| コーヒー講座 | スターバックス/カフェイン |
| 日本茶講座 | 小川園 |
| 着付け教室 | 家庭教育学級生 |
| スマホ・SNS問題に関するグループワーク | 家庭教育学級生等（複数校連携開催） |
| 絵本紹介 | 学校図書司書 |
| 学校見学 | 教頭先生 |
| プレイパーク体験講座 | 一般社団法人千葉県冒険遊び場ネットワーク |
| HSC（繊細で感受性豊かな子）を知ろう | サークル「warmtree」 |
| 子育て学習会 （伝わる子育て「イライラを解消しよう」） | 心の教育相談員 |
| 子どもの性教育（座談会） | 心の教育相談員 |
| 佐倉さんぽ～わたしたちのまちめぐり～ | ボランティアガイド |
| セルフケア ヘッドマッサージ講座 | NAMAKEMONOの部屋 |
| 「お母さんと子どもの心の成長」（座談会） | 心の教育相談員 |
| アイシングクッキー講座 | e.r.n.cookie |
| クリスマスリース作り | 家庭教育学級生 |
| 救急救命講座 | 佐倉市八街市酒々井町消防組合 |
| 防犯講話 | 千葉県警察本部職員 |
| 発達の段階に応じたキャリア教育と 家庭の役割について考える | PTA会長 |

参考までに・・・

- ・給食試食会や親子で参加できる講座は、参加率が高い傾向にあります。
- ・講師探しは、学級生の知人・友人に依頼をしたり、Instagram等SNSで見つかったり、といった例もありました。
- ・学校の行事の日と重なると、参加しやすいといった声がありました。（例：校外学習等で生徒が少ない日、授業参観の後の時間等）

(2) 講師謝礼金について

- ・講師への謝礼金は、後払い・口座振り込みとなりますので、講師依頼の際に、その旨を講師にお伝えください。
- ・謝礼金の支払いにあたり、講師に口座届を記入していただく必要があります。講師依頼の際に口座届を作成し、社会教育課へ提出をお願いします。
- ・講師謝礼金は、提示額から所得税を引いた額が、講師に振り込まれます。謝礼金額を伝える際は、所得税込みの金額である旨を必ずお伝えください。

例：謝礼金 10,000 円の場合⇒所得税 1,021 円 口座振込額 8,979 円

(3) 消耗品について

- ・講座に必要な消耗品をリストアップし、消耗品希望調査票（様式3）に記入し、社会教育課へ提出をお願いします。
- ・消耗品は、消耗品希望調査票（様式3）を社会教育課への提出後、3週間程度で学校への納品となります。
- ・参加募集チラシのコピー用紙等早く納品して欲しいものについては、早めに消耗品希望調査票（様式3）を提出してください。

<納品までの流れ>

消耗希望調査票提出⇒（社会教育課）業者へ発注⇒（社会教育課）業者から納品・確認
⇒学校へ納品※教頭先生宛に送付します

3 事業開始前の提出物について

(1) 提出書類

| 書類名 | | 数 | 提出内容 | 提出方法 | 提出期限 |
|-----|----------|----|--------------------------------------|--------------------------------------|----------------------|
| 様式1 | 役員名簿 | 1部 | データ (データでの提出 が難しい場合は原 本でも可) | ・学校経由 ・メール (原本の場合、来 課、郵送も可) | 事業実施 1か月前 |
| 様式2 | 事業計画書 | 1部 | | | |
| 様式3 | 消耗品希望調査票 | 1部 | | | |

(2) 様式ダウンロードについて

各様式は、佐倉市ホームページからダウンロードできます。

トップ → 組織から探す → 教育委員会 → 社会教育課
→ 家庭教育 → 家庭教育学級
→ 令和6年度家庭教育学級様式集 (B) ※ (A) と間違えないように!

※様式が以前のものから変わっているところがありますので、**必ず今年度の様式をお使いください。**

【提出先】 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地
佐倉市教育委員会 社会教育課
TEL 484-6189 (直通)
FAX 486-9401
E-mail shakaikyoku@city.sakura.lg.jp



注意!
「1」は英字の「エル (小文字)」

(3) 事業計画書 (様式2) について

- ・講座事例 (p2) やチラシ、前年度のアンケート等を参考にしながら、計画書を作成してください。
- ・講師謝礼金の目安 (1回につき): 5,000円~10,000円

※学校教職員や公務員への謝礼金は原則対象外とする。

(4) 消耗品希望調査票 (様式3) について

- ・講座に必要な消耗品を記入願います。
- ・消耗品費の目安 (1回につき): 5,000円以内
- ・対象となるもの: 文房具、用紙代等

※材料費 (学級生個人が使用する代金は、対象外とする。)

金額や費用対象について、判断に迷う場合は、社会教育課までご連絡ください。

4 事業終了後の提出物について

提出書類

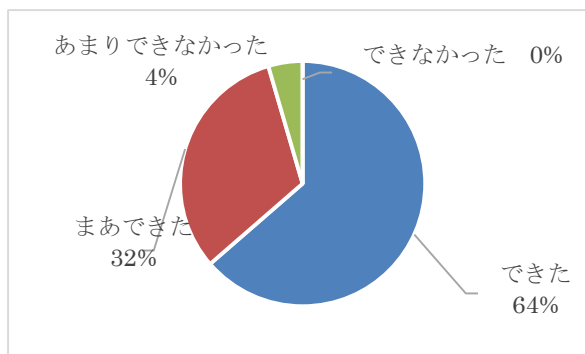
事業終了後 1か月以内に、様式4~5を作成し、社会教育課へ提出してください。
書類の提出は、年間まとめてではなく、1回終了ごとに提出してください。

| 書類名 | 数 | 提出内容 | 提出方法 | 提出期限 |
|-------------------------------------|------------------|------------------------------|----------------------------------|---|
| 様式4 実績報告書 | 1部 | データ (データでの提出が難しい場合は原本でも可) | ・学校経由 ・メール (原本の場合、来課、郵送も可) | 事業実施後 1か月以内 ※但し、最終書類の提出期限は、2/28とする |
| 作成した広報文書 様式5 (学級通信等) ※作成していれば | 発行した広報文書中の 1通 | | | |

5 令和5年度家庭教育学級アンケート結果報告

1 楽しく活動ができましたか

| | |
|-----------|----|
| できた | 14 |
| まあできた | 7 |
| あまりできなかった | 1 |
| できなかった | 0 |

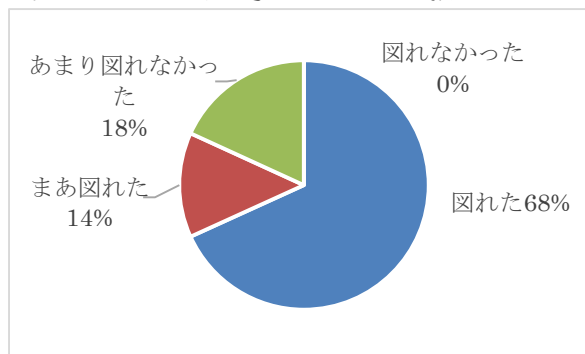


【家庭教育学級を経験した方の声】

- ・給食について理解でき、子供たちの食べる給食もおいしくいただけました。
- ・この活動をしていなかったら交流がなかった方たちとお話しすることができました。
- ・メンバーと協力しながら、貴重な体験ができました。
- ・気心が知れた雰囲気での活動ができました。
- ・係の中で役割分担ができなかったため、楽しさより大変さが多かった。
- ・企画や集まりでワイワイお話しができたため。
- ・企画運営が自由にでき、共働き世帯でも時間に余裕をもって実施できました。

2 「親同士のコミュニケーション」が図れましたか。選んだ理由を教えてください

| | |
|-----------|----|
| 図れた | 15 |
| まあ図れた | 3 |
| あまり図れなかった | 4 |
| 図れなかった | 0 |

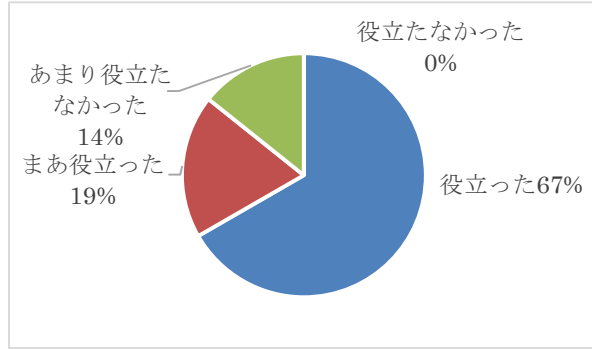


【家庭教育学級を経験した方の声】

- ・活動中、保護者間で連絡を取り合った。
- ・限られた活動時間で保護者同士意見の交換をし合えた。
- ・同じ委員同士はもちろん、活動に参加された方とも話せる機会があり良かったです。
- ・入学するまで、知っている方もいなかったもので、今回の活動で関わることができました。
- ・企画実施時やミーティングで何度も顔をあわせ、LINEでのやり取りもあったため。
- ・親同士のコミュニティは家庭教育に限らない。
- ・コロナ後、久々に会ったこともあり、コミュニケーションは控えめかなと感じた。
- ・参加人数が少なかったが、参加した方は和やかな雰囲気で良かった。
- ・講話や体験をする講座が多かったため、コミュニケーションの場を設けられなかった。
- ・講演形式でしたので保護者間のコミュニケーションを図るものではなかった。
- ・参加人数が少なかった。

3 自身で家庭教育をする上で役立ちましたか

| | |
|------------|----|
| 役立った | 14 |
| まあ役立った | 4 |
| あまり役立たなかった | 3 |
| 役立たなかった | 0 |



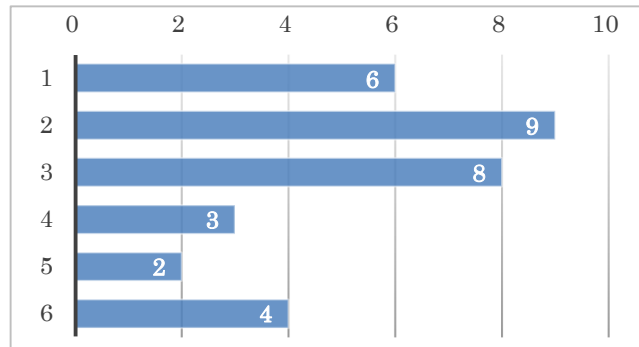
【家庭教育学級を経験した方の声】

- ・給食がたくさんの方の努力でできていることを普段の食生活で伝えられるように思う。
- ・給食試食会にて普段の子供達がどのような感じで給食を食べているかや、食べる姿勢について栄養士の先生から教えていただき、家庭でも気をつけるようにしなければならぬと気付きました。
- ・給食のレシピを実生活に活かすことができた。
- ・普段聞けないお話や内容を知ることができた
- ・活動を通じて、学校の様子や他の家庭の話も聞け、自分の家庭に得た知識や情報を反映できると思った。
- ・性教育については今まで学ぶ機会もなかったので、とても勉強になりました。
- ・親同士の交流があったことで、子どもたちの家での様子について話をし、ちょっとした相談ができるようになった。
- ・性教育のデリケートな部分を、講座で子供とどのように関わるか聴けて参考になった。

4 苦勞された点を教えてください

| | |
|--------------|---|
| ①講座の企画 | 6 |
| ②参加者の募集 | 9 |
| ③（仕事での）休暇の取得 | 8 |
| ④学級生との連絡 | 3 |
| ⑤活動時間の確保 | 2 |
| ⑥その他 | 4 |

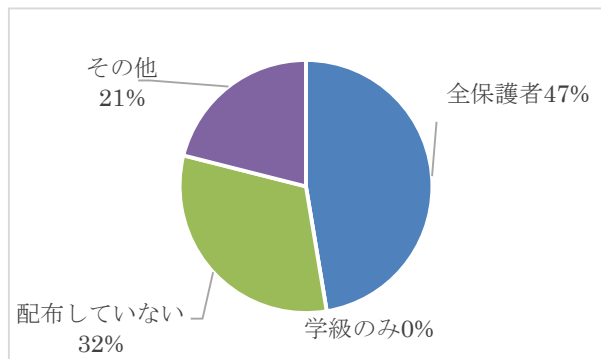
(通帳の引継ぎ、開催する時期が出遅れた)



5 家庭教育学級通信を誰に配布しましたか

| | |
|---------|---|
| 全保護者 | 9 |
| 学級性のみ | 0 |
| 配布していない | 6 |
| その他 | 4 |

(新一年生の保護者、1、2年生の保護者、通信をPDF化し、全保護者にマチコミで周知)



6 家庭教育学級運営に関して、参加者を集めるコツや工夫等を教えてください。

- ・1学年の人数が少ないので、2, 3学年まで募集の枠を広めても良いかもしれない。
- ・参加者が楽しめる企画をしたり、運営委員がそれ以外の親同士と交流(参加をしないう話したり)をすることで、集まるきっかけになる。しかし、働いている方が多いため、参加したくても休めない方も多かった。
- ・各自の持ち物や用意するものが多い活動は敬遠されやすいです。活動を企画する日程は、授業参観などの学校行事がない月、または時期をずらす必要がある。このような工夫がなければ、仕事の休みを取る関係から、参加者を増やすのは難しいと思いました。
- ・もっと家庭教育学級のことを知り、興味を持ってもらえれば参加者は増えると思います。
- ・保護者も仕事を持っている方が多いので、日程等のお知らせは早めに配布すると良いと思います。また企画ごとに担当者を決めて学校や講師とのやり取りをし、他のメンバーは当日のお手伝いメインにするなど、負担を皆で分け合う形で運営していく形をとりました。
- ・マチコミや学校だよりを十分に活用して周知しました。また、口コミでも広く周知しました。
- ・社会教育課と連携して企画できてよかった。マチコミや学校広報の活用も有効でした。
- ・給食試食会は好評です。 ・授業参観後に気軽に参加できるような企画が良いかもしれない。
- ・講座の中で、お茶会的な簡単な交流ができて良かったと思った。
- ・ペン字、筆ペン講座の企画を次年度やってみたい。
- ・子供と一緒にいう講座や、給食試食会は人数が集まりやすいので、それらの講座の際に学級生同士のコミュニケーションが図れれば、それ以外のときでも参加率が上がると思いました。
- ・夏休みに合わせて親子で参加できる体験教室を企画したところ、多くの申し込みがありました。子どもと参加できるもの、学校生活に関するものは、参加者が集まりやすかったです。
- ・家庭教育学級の参加に併せて、普段の学校生活の様子も参観できる等、メリットを付加できるよう周知する。

7 家庭教育学級についての感想・意見について

- ・給食試食会のみで開催でしたが、自分の勉強にもなりました。ただ、仕事を持たれている方が多いので、委員参加者ともに負担が少ない形にしたい。
- ・過去の実績や、提出書類の書き方があると構えずに運営できるかと思いました。あと、作業にはパソコンが使用できないと大変なのかなと思いました。
- ・家庭教育学級の活動を通して、普段できない体験や、出会うことのない方々のお話が聞けてとても勉強になりました。特に第1回開催のミニ集会「スマホやSNSの使い方について」はとても興味深かったです。他校の先生方や保護者も交えての意見交換では、今の時代ならではの悩みなども聞けて、とても有意義な時間となりました。来年度の家庭教育学級も積極的に参加したいと思います。
- ・実際の活動には仕事の都合や、学級閉鎖等で参加できないこともあり残念に思う事もありました。同じ委員の皆さんのお陰で無事全ての活動を終了できました。小学校では普段学校での子供達の様子が分からず、親同士の交流もほとんどないですが家庭教育学級を通し子供達の様子が見られ、親同士の交流、先生との交流もありとても良い経験となりました。
- ・家庭教育学級をやらせていただき、仕事上当日参加してのお手伝いしかできなかったのですが、良い体験をさせていただきました。学校行事の一環として来年も自分は関係ないではなく、興味あるものは参加していきたいなと思いました。

- ・就労しているため、集まる時間の調整が難しく、結果、代表に仕事の負担が多くなると思った。平日の休暇取得が難しい。企画書や報告書等も大変だった。運営方法の検討が必要。
- ・慣れていないと企画等に苦慮するので、社会教育課のサポートの下、早めに事業を始められるようにしたい。
- ・ネット配信の講座は手間がかからず良かった。
- ・一年を通して学校と関わりを持てる機会はとても有意義な時間でした。他の親御さんとコミュニケーションを取れる貴重な機会でもあると思いますので委員をやらせて頂いてよかったですと思います。
- ・運営委員長の印鑑を使う頻度が多いので、印鑑の省略ができればもっと事務が楽になる。
- ・年間計画を知り合ったばかりの親同士が計画立てる事、1つの講座を開講するのに計画、印刷、配布、回収、実施と少なくとも3回位は休まなければならない、仕事をしている人が多いので有給確保（子供の病気、学級閉鎖など他にも休まなければならないので…）が大変でした。ですが土日に活動出来ると子供も参加出来て楽しめたし、平日には親同士の親睦が図れたように思えた。年間3回位の活動にして貰えると負担が少なく感じる。
- ・感染症の影響で保護者間の繋がりは薄く定着している。一部を除いて大半はPTAや保護者間の関係維持の煩わしさから解放されたと思っているように感じる。そうした背景がある中で、コミュニケーション重視の企画は難しいと考えている。子供たちと学校と家庭、それぞれの役割、出来ることについて話し考える機会を保護者に提供することが個人化した保護者へのメッセージと考えている。ただ、家庭教育学級をやってみて、保護者間コミュニケーションを持っていない（少ない）保護者がいるのではないか、その方達は保護者間で得られる情報や価値観の共有などが出来ていないのではないか、保護者の孤立があるのではないかと心配になりました。そういう意味で、単に楽しい、煩わしくない、企画も必要だと考えるようになりました。
- ・6年前にも、小学校で家庭教育学級委員をやり、コロナ禍前で様々な講座を9回計画実施し、大変楽しかった記憶がありましたので、中学校で再び委員になりました。コロナ禍明けで、いろいろ様子見なのと、学校側のご都合との調整により、今年度は給食試食会のみで開催となりましたが、開催できてよかったです。来年度以降は学校とも調整し、保護者自身がリフレッシュできるような他の講座も開けたらよいなと思います。

企画や事務手続きのことで困ったら・・・

「家庭教育学級のことで」とお気軽にご相談ください。

【ご相談窓口】 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地
 佐倉市教育委員会 社会教育課 振興班
 TEL 043-484-6189 (直通)
 E-mail shakaikyoiku@city.sakura.lg.jp



佐倉市広報キャラクター

しりあぶりねこ